



ギアとしても使えるモバイルバッテリー

水、砂、チリ、衝撃に強く危険の多いアウトドアでも耐える、故障が少ないモバイルバッテリー。付属のLEDギアを直接本体に繋ぐとランタンにもなり、本体に備えたフックを使えば吊るせたり、三脚を立てて固定することもできる。また、付属のソーラーパネルで充電もでき、家に帰らなくてもバッテリー充電が可能だ。

ネストアウト

- | | | |
|---|--|--|
| モバイルバッテリー
12000mAh (右)
価格6480円
スマホが約3.5回充電可能。入力／出力USB Type-Cポート×1、出力USB-Aポート×2、重さ約340g | モバイルバッテリー
8000mAh (中)
価格5480円
スマホが約2.6回充電可能。入力／出力USB Type-Cポート×1、出力USB-Aポート×1、重さ約225g | モバイルバッテリー
5000mAh (左)
価格4280円
スマホが約1.5回充電可能。入力／出力USB Type-Cポート×1、出力USB-Aポート×1、重さ約132g |
|---|--|--|

©エレコムコールセンター ☎0570-067-676

スタイリッシュなデザインの頼れるタフな奴!

ボルトマジック PB450 タフ

価格4万5630円～

残り時間予測機能、タフボディ、オールインパッケージ、防災製品等推奨マーク取得の「ボルトマジックPB450タフ」。従来のリッチブラックに加え、新たに6色のフェースカラーが登場。シチュエーションに合わせて使い分けよう。特プロテクタ ☎0564-65-8410



おしゃれで耐久性に優れたバケツ



イエティ ロードアウトバケツ

価格7150円

スタイリッシュなデザイン。キャンプサイトでは涼しいリッド(フタ)を付ければ水を衛生的に保てるし、ギアを収納したり、小物をどさっと入れて運搬するのも便利。ガレージでは工具をまとめておくにもおすすめ。

©エイアンドエフ ☎03-3209-7575

水



氷を運ぶために生まれたトートバッグ



エル・エル・ビーン ボート・アンド・トート・バッグ、 オープン・トップ

価格6490円～9790円

1944年氷を運ぶバッグとして発売されて以来、品質にこだわってきた定番トート。氷が溶けてもすぐに水が染み出さないように丈夫な24オンスのキャンパス生地を使用している。現在でも米国メイン州の自社工場ですべてつくりし、世界中で愛され続けているアイテムだ。©エル・エル・ビーンカスタマーサービスセンター ☎0422-79-9131

丈夫で折り畳める ナイロンバケツ

シアトルスポーツ ポケットバケツ12L

価格2860円

コンパクトに丸めて持ち運べる210デニールのウレタンコーティングリップストップナイロンを使ったバケツ。キャンプでは水の供給としてはもちろん、海や川のレジャーや突然の雨などで濡れた衣服を入れておくにも便利。©エイアンドエフ ☎03-3209-7575

持ちやすさと性能を両立した多目的ポータブル電源



電源がないキャンプ場ではこれ一台あれば心強い。本体前面に端子やボタンをまとめ、操作がわかりやすいからでも使える。12WのLEDライトなら約44時間、スマホなら約35回の充電が可能。災害時にも役立つ。



KENWOOD ポータブル電源 BN-RK600

オープン価格(実勢7万5000円前後)

©JVCケンウッドカスタマーサポートセンター ☎0120-2727-87

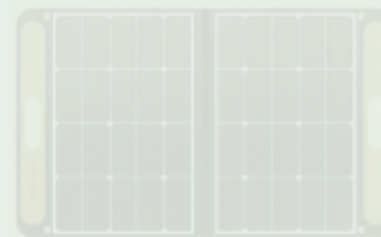
KENWOODのブランドカラーであるブラックで統一し、シンプルでスタイリッシュなデザイン。高容量の大容量リチウムイオンバッテリーの搭載により、AC1500W、最大1000Whの出力を実現。スマホ、ノートPC、小型冷蔵庫などの充電が可能だ。

アウトドアでもライフラインを確保せよ!

電気と水を溜めるギアボックス

キャンプを快適に過ごすために欠かせないのは水と電気。いざというときのライフライン確保にも役立つ。たっぷり貯めておけるギアボックスがあれば安心だ。

文/パンチ広沢



JVC Powered by Jackery ポータブルソーラーパネル BH-SP68

オープン価格(実勢2万7000円前後)

軽量・コンパクトながらパネルに高耐久性のあるフッ素樹脂を採用し、最大60Wの出力が可能。ポータブル電源本体だけでなく、スマホやUSB機器に直接充電できる。

©JVCケンウッドカスタマーサポートセンター ☎0120-2727-87

軽量・コンパクトなソーラーパネルで外でも充電



JVC Powered by Jackery ポータブル電源 BN-RB62

オープン価格(実勢7万5000円前後)

多目的に使える大容量ポータブル電源。重さ6.5kg、容量625Wh、出力AC1500W(瞬間最大1000W)で、スマホから小型冷蔵庫、電力工具などの長時間使用に対応。また、延長6mになるケーブルとソーラーパネルで充電も可能だ。

あると安心、
備えて便利な電気と水

長かった緊急事態宣言が全国的に解禁され、どこへ行くかとお計画を練っている人も多いのではないだろうか。秋はちょうどいい気候で、湿度と虫が少なく絶好のキャンプシーズン。ライフラインが整備されていない場所では電気を張るときには、水や電気を貯めておけるギアボックスが役に立つ。スマホやノートPCの充電だけでなく、小型冷蔵庫や電気工具まで使えるポータブル電源は頼れるアイテム。日中はソーラーパネルで充電できるのも心強い。また、水を汲み置けるバケツも何かと便利だ。近年のアウトドアブームで、水や電気がすぐ手に入るキャンプ場や施設があるが安心してはいけない。現地へたどり着くまではジャングルのような森や切り立つ崖を通り抜けることもあり、万が一の事態が起こりうるため、車の隅にポータブル電源やバケツを載せておくことも安心できる。

台風や地震、豪雪、感染症など近年は日本各地で災害が多発している。都会だろうが僻地だろうがサバイバル状態になれば、こうした備えが役に立つ。ところが、買った時点で安心してしまい、必要な場面になったら使い方がわからずオロオロ……。なんてことにならないように、キャンプなどで使い慣れておくことも大事だったりする。秋は遊びながら学ぼうシーズンでもあるよ。